



スタートカリキュラム 実践事例集



この事例集は、幼児教育長期研修派遣教員（幼児教育の理解と幼保・小連携の推進のため、幼稚園で1年間の研修を行った小学校の教員）が、幼児期の教育と小学校教育の接続を意識して取り組んだ小学校入学時のスタートカリキュラムの実践を集めたものです。

平成26年2月

山口県教育庁義務教育課

1 スタートカリキュラムとは

「スタートカリキュラム」とは、小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第1学年入学当初のカリキュラムのことです。

例えば、学校を探検する生活科の学習活動を中核として、国語科、音楽科、図画工作科などの内容を合科的に扱い、大きな単元を構成することが考えられます。こうした単元では、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動を、ゆったりとした時間の中で進めていくことが可能となります。

また、幼稚園や保育所等の学びの形態を踏まえ、45分の授業を20分や15分程度のモジュールで時間割を構成することなども考えられます。

入学したばかりの児童に「明日も学校に来たい。」という学校生活に対する意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすように、スタートカリキュラムを工夫することが大切です。




【小学校学習指導要領解説 総則編】

特に第1学年入学当初における生活科を中心とした合科的な指導については、新入生が、幼児教育から小学校教育へと円滑に移行することに資するものであり、幼児教育との連携の観点から工夫することが望まれる。


【小学校学習指導要領解説 生活編】

幼児教育との接続の観点から、幼児と触れ合うなどの交流活動や他教科等との関連を図る指導は引き続き重要であり、特に、学校生活への適応が図られるよう、合科的な指導を行うなどの工夫により第1学年入学当初のカリキュラムをスタートカリキュラムとして改善することとした。


2 スタートカリキュラムのねらい

 児童が安心して、学校生活を送ることができるようにすること

学校の生活時程や校舎内の様子、きまりやルールに慣れるための活動の工夫

 児童が各教科等の学習に意欲的に取り組むことができるようにすること

幼児期の教育との接続を意識した授業等の工夫

 学習や生活の基盤となる学級集団をつくること

新しい先生や友達との出会いを楽しむ活動の工夫

3 スタートカリキュラム実施上の留意点



スタートカリキュラムについては、地域や小学校によって、児童の実態や状況が異なることから、どれくらいの期間、どのような方法で行うかは、それぞれの小学校において判断し、実施されるべきものです。そのような多様性を踏まえた上で、次のような点について配慮することが大切です。



(1) 幼稚園、保育所等と連携、協力する。

子どもの育ちや学びをつなげ、幼児期の教育の成果を生かしたスタートカリキュラムを編成するためには、小学校区にある幼稚園や保育所等と連携し、入学時の児童の実態や指導の在り方などについて理解を深めることが大切です。そのためには、年間を通した計画的な園児と児童の交流活動や教職員の合同研修会等を実施することが必要になります。

また、一人ひとりの児童に対応したきめ細かい指導や適切な支援のためには、幼稚園、保育所等からの指導要録、保育要録等を活用し、児童の発達や学びの状況に関する情報や支援の方法を共有することも重要です。



(2) 学校全体での取組とする。

スタートカリキュラムの必要性や取組状況を1年担任だけでなく、全ての教職員が理解しておくことが大切です。そのためには、1学年合同による授業や他学年との交流活動を行ったり、養護教諭や栄養教諭等とのチーム・ティーチングを行ったりするなど、学校全体の体制として取組を進めていくことが必要です。1年生は、義務教育のスタートであり、そのスタートを円滑に切ることは、その後の学校生活を支えることになります。



【6年生がサポート】



【他学年との交流活動】



【栄養教諭による給食のお話】



(3) 合科的・関連的な指導の充実を図る。

幼稚園や保育所等では、遊びや生活といった直接的な体験を通して総合的に学ぶ教育が行われています。そこで、スタートカリキュラムを編成する際には、単元又は1単位時間の中で複数の教科の目標や内容を組み合わせて、児童が、具体的かつ総合的に学習できるよう工夫することが大切です。その際、それぞれの教科の目標が、ともに実現されていくよう配慮することが重要となります。

合科的な指導

各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの。

関連的な指導

教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの。

【小学校学習指導要領解説 生活編から】



(4) 学習への興味・関心を大切にする。

幼稚園や保育所等では、子どもが自ら周りの環境に働きかけて遊ぶ中で、様々なことに関心をもち、調べたり、追究したりして、学びの芽を育てています。そこで、スタートカリキュラムでも、児童の興味・関心を大切にしておいて、幼児期に育った子どもの学びの芽を小学校の学習へつなぐことが大切です。

具体的には、授業の中に、遊びの要素や身体活動を取り入れたり、絵本などの教材や児童が操作できる教具を使ったりするなど、国語や算数等の教科の学習においても、児童の興味・関心を高める学習の工夫が求められます。



【算数 なんばんめ】



(5) 授業時間や学習環境を工夫する。

入学時の児童の実態や活動内容に応じて45分の授業時間にとらわれず、20分や15分程度のもジュールを取り入れるなど、単位時間を柔軟に考えてスタートカリキュラムを計画していきましょう。45分間の中で国語科、音楽科、体育科等の複数の教科を行うことで、児童が集中してそれぞれの活動に取り組むことができます。

また、児童一人ひとりが安心して生活や学習に取り組めるよう、見通しをもって次の活動ができる掲示を工夫するなど学習環境を整えることも有効です。



【見通しをもって活動できる掲示の工夫】



(6) 保護者への適切な説明を行う。

児童の小学校生活への円滑な適応を図るためには、保護者の理解、協力は不可欠です。スタートカリキュラムの実施に当たっても、その意義や具体的な指導について、一日入学や学級懇談会等の機会に話したり、学校・学級だよりや入学のしおり等で説明したりするなど、保護者にしっかりと伝えることが大切です。

4 スタートカリキュラムの実践事例



幼児教育長期研修派遣教員の実践事例

1

＜スタートカリキュラム編成・実施におけるポイント＞

- (1) 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫
- (2) 1学年担当以外の教職員とのチーム・ティーチングの工夫



(1) 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫

① 学習内容の整理と配列

遊びや生活といった直接的な体験を通して総合的に学ぶ幼児期の教育との接続から、入学直後は、生活科を中心に、国語科、音楽科、図画工作科等の関連を図り、合科的・関連的な指導を工夫しました。まず、生活科の「がっこうたんけん」を軸にして他教科等で関連する学習内容を整理しました。【表1参照】

次に、各教科の関連を踏まえ、それぞれのねらいをより効果的に実現するためにカリキュラムにおける配列を考えました。例えば、学校や学校周辺を探検する中で、運動場の遊具の使い方や並び方を指導する体育科や見つけたことを絵で表現する図画工作科を生活科と合科的に扱うように配列しました。また、学校探検の前に、関連のある国語科の名刺を作る学習や道徳のあいさつについての大切さを学ぶ学習を計画しました。さらに、探検の際に見つけた物を使って数について理解する算数科の学習を学校探検の後に計画しました。【次頁 スタートカリキュラム参照】

【表1】 生活科と教科等との関連

【国語科】 分かったことや気付いたことを言葉でまとめる。	【国語科】 自分を紹介する名刺を作る。	【国語科】 あいさつの言葉を考えてはつきり話す。
【図画工作科】 先生に伝えたいことを表現する。	【生活科】 「がっこうたんけん」 学校の施設の様子や先生や友達のことがわかる。	【算数科】 学校の人や物を使った数調べをする。
【道徳】 きもちのよいあいさつをすることの大切さに気付く。		【音楽科】 校歌を歌ったり、身近な楽器を見たり触れたりして親しむ。
【特別活動】 教室や施設の場所や使い方を知る。	【体育科】 遊具の使い方や並び方を知る。 運動遊びや体づくり運動を行う。	

スタートカリキュラム 1~2週

テーマ ねらい		【第1週目】 はじめまして 小学校 ○ 学校にはどんな場所にどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子が分かる。楽しく安心して過ごす。					【第2週目】 友達をつくって、いっぱい遊ぼう ○ 友達の名前を覚えて、仲よく過ごすことができる。				
日	4月8日 (月)	9日 (火)	10日 (水)	11日 (木)	12日 (金)	15日 (月)	16日 (火)	17日 (水)	18日 (木)	19日 (金)	
7:40 8:15		<ul style="list-style-type: none"> 登校したら、席に着いてお絵かき、読書、折り紙等をする。 机の上の物を片付けてトイレに行く。 				登校したら、朝の活動(ランドセルの片付けまで)を自分でする。 <ul style="list-style-type: none"> 準備ができたなら席に着いてお絵かき、読書、折り紙等をする。 あさのあいさつと健康観察を行う。 					
8:15 朝の会	朝の活動を教師と一緒に全員でする。 <ol style="list-style-type: none"> ランドセルを椅子に置き、提出物を出し、残りを引き出しの中に入れる。 体操服に着替え、たんだ制服と安全帽子をランドセルに入れてロッカーに入れる。 ランドセルの片付け (ロッカーの使い方) (準備ができたなら席について自由画帳・おりがみ) 朝のあいさつ 健康観察 					にこにこタイム ※ 20分内でできるよう、活動を選ぶ 歌「どきどきどん1年生」「春が来た」「校歌」 ふれあいゲーム「ぞうさんのさんぽ」「貨物列車」「おもちゃのちゃちゃちゃ」 手遊び・読み聞かせ「これはのみのびこ」「おおくなるっていうことは」 自己紹介をしよう「ぼく・わたしの好きなもの」					
1 8:35 9:20	受付 入学式について 並び方 返事 トイレ	にこにこタイム (音) 歌「どきどきどん1年生」「春が来た」 (学活) ふれあいゲーム「あくしゅでこんにちは」「貨物列車」「ならびっこ」気持ちのよいあいさつ、返事、廊下歩行 (図) 手遊び・読み聞かせ「ぐりとぐら」「きやべつくん」「ともだち」				生活科との関連的な指導 生活科を中心とした 合科的な指導					
		安心感をもたせるため「にこにこタイム」を設定した。圖で体験した歌・遊び・読み聞かせを取り入れた。同じリズムで一日のスタートができるようにした。子どもの発達に応じたスムーズな移行ができるよう、モジュール(15分)を導入した。				学級活動 <ul style="list-style-type: none"> どんな検査があるか事前に絵で簡単に説明 並び方 	道徳 あいさつ 交通安全ルール マナー	国語 どうぞよろしく ・名刺づくり ひらがな「お」	国語 どうぞよろしく ・名刺づくり ひらがな「は」	国語 名刺をわたそう ひらがな「よ」	
2 9:30 10:15	入学式 学級活動 今日から1年生担任紹介教科書等配布物の説明	生活 がっこうたんけん ① 机、ロッカー、下足箱、傘立て、教室での過ごし方、お便りのしまい方	生活 がっこうたんけん ② 校内1階 ・職員室、事務室、玄関、保健室、給食室、体育館など	生活 がっこうたんけん ③ 校内2階 ・図書室、パソコンルーム、音楽室など	生活・体育 がっこうたんけん ④ ・運動場を探検する。 (体育) ・遊具を使った運動遊びをする。	身体測定 <ul style="list-style-type: none"> 出席番号順男女各2グループで検査へ。(6年生2名お世話係) 終わったグループから自由帳に絵を描く 	生活・国語・図工 きせつとあそぼう ・学校周辺のれんげ畑に行つて、春を見付ける。 (国語) ・見つけたものを発表会をする。 (図工) ・見つけたものを絵に描く	体育(学級で) ・ならびっこ ・体ほぐし ・笛の合図	体育(合同) ・リズム太鼓(笛)の約束 ・うさぎ、くま、あおむし歩きで壁をタッチしてならびっこ	生活 がっこうたんけん ⑤ 2年生の仲良し学級訪問、ペア学習	
3 10:35 11:20		学活 帰りの支度の仕方・下校グループ確認(シールと旗の色の確認)下校指導される先生の紹介	国語 学校探検で見つけたこと 「はる」①(音読) ・教科書を開く、折る。 ・座り方、立ち方	国語 学校探検で見つけたこと ・姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・自分の名前	国語 学校探検で見つけたこと 「はる」② ・音読の時の口の開け方			算数 ともだち① ・同じ種類のもを丸で囲んで数える。 教室の中の物を数える。	図工 わたしのかお ・色画用紙で顔のパーツをつくりのりで貼る。 ・はさみ、のりの使い方(のり雑巾4人で1枚準備)	算数 ともだち② ・ブロックをおいて数える 学校の物を数える	
4 11:30 12:15	3クラスが集まり共通理解すべきことを指導した。また、教室移動の仕方や話の聞き方も学ぶ機会とした。 学校生活では圖よりも多くの教師との関わりが生じるため、「はじめまして先生タイム」を設定した。	学級活動 栄養教諭紹介 ・楽しい給食	学級活動 養護教諭紹介 ・トイレの使い方	学級活動 校長先生紹介 ・学校は楽しいよ	国語 おはなしよんで	音楽 音楽専科紹介 ・校歌 ・歌声体操	書写 ・姿勢 ・鉛筆の持ち方		学級活動 ・一週間の振り返り ・学校の行きかえりの約束		
5 14:15 15:00		地区子ども会 ・交通安全(教室まで登校班班長がおむかえ)	学級活動 帰りの準備ゲーム 国語 よみきかせ 今日楽しかったこと	学級活動 帰りの準備 ・下校グループ確認 国語 よみきかせ 今日楽しかったこと	学級活動 ・上手な掃除雑巾の拭き方、絞り方、机の運び方	生活 なかよしいっぱい「ぐるぐるじゃんけん」など	音楽 歌でなかよし ・歌に合わせて体を動かす		金曜日は、その週のまとめで、学校生活を振り返る時間を設けた。		

スタートカリキュラム 3~4週

子どもの実態を踏まえたテーマとねらいを設定した。(1週から4週まで)

テーマ ねらい		[第3週目] きちんと守ろう 学校のきまり ○ 学校や学級のきまりを守って、落ち着いて過ごすことができる。					[第4週目] 名前をたくさん覚えよう ○ 先生や上級生の名前を多く覚えて、相手を意識することができる。				
日		22日 (月)	23日 (火)	24日 (水)	25日 (木)	26日 (金)	29日 (月)	30日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)
8:15	朝の会	着替え 学習用具の整理整頓 提出物の確認 朝の会<健康観察・朝の歌・先生の話>					着替え 学習用具の整理整頓 提出物の確認 朝の会<健康観察・朝の歌・先生の話>				
1	8:35	学級活動 お休みの日の話をしよう ・みんなの前での話し方、聞き方	国語	国語	国語	国語	昭 和 の 日	国語	国語	国語	憲 法 記 念 日
	9:20		おはなしよんでひらがな「い」 ・書くときの姿勢 ・下敷き確認 ・はね	うたにあわせてあいうえお ・読む姿勢 ひらがな「ち」 ・書き順	うたにあわせてあいうえお ・口の開け方 ひらがな「ね」 ・似た文字	うたにあわせてあいうえお ・声の物差し ひらがな「ん」		ふたりでお話ひらがな「あ」 ・えんぴつの持ち方 ・姿勢の歌	ふたりでお話ひらがな「か」 ・縦と横の真ん中の罫線と4つの部屋の確認	ふたりでお話「ともだちのサイン集め(生活科)」の紹介 ひらがな「る」	
2	9:30	国語 おはなしよんでひらがな「う」 ・鉛筆の持ち方 ・止め、払い	生活	体育(学級で)	体育(合同)	道徳	生活科を中心とした 総合的な指導	図工	体育(合同)	体育	
	10:15		がっこうたんけん ⑥ ・運動場	ならびっこ ゆうぐあそび ・並び方 ・安全な道具の使い方	からだほぐし ・リズム太鼓(笛) ・うさぎ、くま、あおむし歩きで壁をタッチしてならびっこ ・もうじゅうがり	いつでもどこでも ・元気なあいさつ		つないだりならべたり ・うわぐつやランドセルなどの持ち物を廊下に並べる	体力テストの準備(体育館) ・反復横跳び ・ボール投げ ・上体おこし	兄弟学級の6年生と反復横跳びの練習 ・手をつないでもらってペアでリズムよく動く	
3	10:35	算数 ともだち③ ・1対1対応で線を引いて数えて、数の大小を比べる。	算数	図工	算数	生活・国語・図工 (生活) 2年生と一緒に、学校たんけん ・ペアの2年生と2組合同に4人でクイズラリーをする。 ・体育館スタートゴール (国語・図工) ・学校探検で見つけたことを絵や文で書く	体育(合同)	生活	算数		
	11:20		ともだち④ ・おはじきで置きかえて対応させて数を比較する	つんだりならべたり ・おりがみを使って作ったものを、A4用紙を縦に4等分にしたものをつなぎあわせたものに貼っていく。	10までの数 ・教科書のカラー挿絵を準備し、教科書と板書に対応させる。		体力テストの準備(運動場) ・50M走	2年生 ありがとう ・学校たんけんのお礼(牛乳のふたを入れる箱をプレゼント)	10までの数 ・絵と数字とブロックの数の対応		
4	11:30	音楽 歌でなかよし ・手をつないで ・肩をもって	道徳	書写 字を書く姿勢 鉛筆のもちかた	算数 10までの数 ・数字カード ・おはじき遊び	国語 歌でなかよし ・かもつ列車 ・ひらいたひらいた	道徳	算数	学級活動		
	12:15		じゅぎょうがはじまります(副読本) ・授業前の準備 ・時間を守る				ともだち ・ペアの2年生と2組合同に4人でクイズラリーをする。 ・体育館スタートゴール	ともだち ・絵カード作りで絵と数を対応	教頭先生の紹介 「おはよう」「いただきます」		
5	14:15	音楽 歌でなかよし ・歌声体操	国語 今週楽しかったこと	音楽 歌でなかよし ・かもつ列車 ・ひらいたひらいた	国語 今週楽しかったこと	音楽 歌でなかよし ・歌声体操	国語 あかいとりことり ・山谷読み	図工 今週楽しかったことの絵			
	15:00								今週楽しかったこと	今週楽しかったこと	

金曜日の振り回りの時間を図工や国語の教科で行い、絵や文で表現するようにした。

② 生活科「がっこうたんけん」と合科的・関連的な学習

「がっこうたんけん」では、児童が毎日使う教室や昇降口の探検から、校舎内の他学年の教室、特別教室、校庭やグラウンド、学校周辺と徐々に活動の場が広がっていくようにしました。

学校周辺のれんげ畑に出かけた際には、気付いたことを自然と友達に伝える姿がみられ、国語科・図画工作科と合科的に扱い、見付けたことを話したり、聞いたり、絵で表現したりする学習を行いました。



【探検で、はるをみつけたよ】



(2) 1学年担当以外の教職員とのチーム・ティーチングの工夫

担任以外の先生方と学級活動の時間にチーム・ティーチングを行いました。1学年は3学級ありますが、学級活動を合同で行い、学校生活に必要なきまりや話の聞き方、教室移動の仕方など、共通で指導する場としました。また、給食指導や保健室の利用の仕方等を栄養教諭や養護教諭が話したり、校長や教頭が自己紹介や学校生活について話したりしました。子どもたちにとって、学校生活に必要なことを理解するだけでなく、学校で働く人は、どんな思いや願いをもって仕事をしているかを知る機会にもなりました。

チーム・ティーチングでは、複数の教員が指導を分担し、協力することで、それぞれの児童の見取りや配慮をきめ細かく行うことができました。担任にとっては、自分の学級だけでなく、学年全体の様子や支援を要する児童の理解にもつながりました。



【トイレの使い方（養護教諭）】



【学校は楽しいよ（校長先生）】

合科的・関連的な指導の際には、生活科における学習の成果を他教科の学習に生かしたり、他教科等の学習の成果を生活科に生かしたりすることが重要となります。そこで、学習にストーリー性をもたせたり、必然性を感じさせる配列の工夫をしたりするなど指導の時期や指導方法の関連を考慮して実践しました。また、担任以外の先生との交流は、それぞれの先生に親しみをもつ機会にもなり、学校生活への安心感にもつながったように思います。

本校では、夏季休業中に全教職員が校区内の幼稚園、保育所で「保育体験研修」を行っており、そこでの研修の成果をスタートカリキュラムに生かすようにしています。



＜スタートカリキュラム編成・実施におけるポイント＞

- (1) 授業時間の配分を工夫した学年合同活動「なかよしタイム」の設定
- (2) アンケートを利用した幼稚園や保育所等との連携の工夫



(1) 授業時間の配分を工夫した学年合同活動「なかよしタイム」の設定

入学してからの1か月間は、小学校生活に慣れるために幼稚園や保育所等で親しんだ歌や遊び等を取り入れた「なかよしタイム」を設定しました。毎日1校時目に体育館に集合し、学年合同で活動を行いました。1校時45分を各15分間のモジュールで行い、国語科や体育科、音楽科、学級活動を組み合わせて実施しました。

① 国語科では絵本の読み聞かせを行いました。大型絵本を用意して、「ぐりとぐら」などの子どもたちになじみの深いものから、小学校でのトイレの使い方がよくわかる「がっこうでトイレにいけるかな?」、言葉遊び「いただきバス」「もこもこもこ」などの絵本を読み聞かせました。児童は、その後図書館でこの絵本を見つけると、嬉しそうに本を借りていました。

② 体育科では、幼稚園や保育所等で経験したことがある体操やリズム遊びを行いました。「カエルの体操」は、音楽がユーモラスで動きが楽しいので、子どもたちには大好評でした。音楽に合わせて「じゃんけん列車」や「誕生月なかま」などをしましたが、幼稚園や保育所等で経験している子どもがほとんどで、とても意欲的に取り組みました。また、クラスごとに学校生活には欠かせない1列や2列の並び方の練習も行いました。



【みんなでいっしょに「じゃんけん列車」】

③ 音楽科では、主に小学校の校歌の練習をしました。子どもたちにとって初めて聞く学校の歌です。どの子も早く覚えたいと意欲満々で、5月にある「1年生を迎える会」で校歌を披露することができました。

④ 学級活動では、学校のきまりについて話をしたり、あいさつや返事、話の聞き方や座り方などの指導をしたりしました。また、遊具での遊び方や廊下の歩き方、友達への接し方など、その都度課題に感じたことを取り上げて全体指導をしました。



【みんなでいっしょに話を聞く】

「なかよしタイム」にかかわる1年の担任は2名ですが、そのほかにも支援学級の担任や児童支援員、時には校長も一緒に参加しました。複数の目で、子どもたちを見守ることができ、一人ひとりにきめ細かい支援を行うことができました。

スタートカリキュラム 第1週 「はじめまして がっこう」

	8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	《今週のテーマ》
朝の活動 8:15~ 8:40		<ul style="list-style-type: none"> ・登校してきた子どもから自分の持ち物の整理整頓を行う。できた子どもから自由あそびをする。 ・席について朝の健康観察を行い、並んで体育館に移動する。 				「はじめまして、がっこう」 ・今週は、朝の活動の時間を20分程度確保し、ゆとりをもって準備できるようにする。 ・1時間目は、学年合同で幼児教育でなじんだ活動を取り入れ、学年の先生全員を自分たちの先生として意識させる。 ・2校時は、生活科で同様のパターンを繰り返し、安心感をもたせる。
① 8:40~ 9:25	な か よ し タイ ム					《今週のなかよしタイム》 ・歌・・・校歌、先生とおともだち ・体操・・・かえるの体操 ・ゲーム・・・かもつ列車
	(学) 先生の紹介	(音) 歌、ゲーム	(体) 体操、ゲーム	(音) 歌、ゲーム		
	(音) 歌、手遊び	(学) あいさつ、返事	(学) 廊下の歩き方	(学) 話の聞き方		
② 9:30~ 10:15		(生) 学校探検 ・トイレ・傘立て ・靴箱・昇降口	(生) 学校探検 ・運動場探検 ・遊具の使い方	(生) 学校探検 ・校長室・保健室 ・職員室	(行) 成長測定 (道) いのちの日	
	③ 10:35~ 11:20	(行) 入学式	(生) 教室探検 ・引き出し ・ロッカーの使い方 ・部屋での過ごし方	(国) せんのおけいこ ・鉛筆の持ち方 ・名前を書こう	(図) すきなもののいっぱい ・えをかこう	
④ 11:25~ 12:10	(学) 今日から1年生 (担任紹介)	下校指導	下校指導	(音) 手遊び・リズム遊び (学) はじめての給食 ・手のあらいかた ・食べ方、片づけ方	(音) 手遊び・リズム遊び (学) 楽しい給食 ・手のあらいかた ・食べ方、片づけ方	
		(学) 下校準備	(学) 下校準備			
⑤ 14:10~ 14:55				(行) 歯科検診 (学) 下校準備	(国) かんじたことをはなそう (学) 下校準備	

スタートカリキュラム 第2週 「はじめまして ともだち」

	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	《今週のテーマ》
朝の活動 8:15~ 8:40		<ul style="list-style-type: none"> ・登校してきた子どもから自分の持ち物の整理整頓を行う。できた子どもから自由あそびをする。 ・席について朝の健康観察を行い、並んで体育館に移動する。 				「はじめまして ともだち」 ・ <u>友だちとのかかわりが増すような活動を設定</u> し、名刺づくりや自己紹介など関連的な学習を取り入れる。
① 8:40~ 9:25	な か よ し タイ ム					《今週のなかよしタイム》 ・歌・・・校歌、音楽で習った歌 ・体操・・・動物体操、たけのこ体操 ・ゲーム・・・かもつ列車、リズム遊び・・・お誕生月仲間
	(音) 歌	(音) 歌	(音) 歌	(音) 歌・リズム遊び	(音) 歌、リズム遊び	
	(体) ゲーム	(体) 体操	(体) 体操	(国) 読み聞かせ	(国) 読み聞かせ	
② 9:30~ 10:15	(生) 学校探検 先生と一緒に 1階探検	(生) 学校探検 先生と一緒に 2階・3階探検	(生) 学校探検 先生と一緒に 図書室の探検	(生) 学校探検 先生と一緒に 特別教室探検	(生) 学校探検 みつけたよ発表会	
	③ 10:35~ 11:20	(国) みつけたよ みんなにつたえよう じをかこう	(体) ゆうぐあそび ならびっこ かけっこ	(算) かすとすうじ	(算) かすとすうじ	
④ 11:25~ 12:10	(生) めいしをつくらう	(算) かすとすうじ	(音) 校歌 うたでさんぽ	(道) いつでも どこでも	(算) かすとすうじ	
	(学) 給食準備	(学) 給食準備	(学) 給食準備	(学) 給食準備	(学) 給食準備	
⑤ 14:05~ 14:50	(生) めいしをつくらう	(図) すきなものいっぱい ・えをかこう	(国) 自己紹介 名刺交換(お家の人と)	(国) じをかくせい じのれんしゅう	(図) すきなものいっぱい ・えをかこう	
	(学) 下校準備				(学) 下校準備	

スタートカリキュラム 第3週 「はじめまして みなさん」

	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	《今週のテーマ》
朝の学習 朝の会 8:15~ 8:40	<ul style="list-style-type: none"> ・登校してきた子どもから自分の持ち物の整理整頓を行う。できた子どもから自由あそびをする。 ・席について朝の健康観察を行い、並んで体育館に移動する。 			読み聞かせ	朝学	「はじめまして みなさん」 ・施設の使い方などの学校のきまりや話の聞き方などの学習規律を再確認しながら、 <u>学年合同の活動から学級単位の活動に移行し</u> これからの生活につなげていく。
				朝の会	朝の会	
① 8:40~ 9:25	なかよしタイム			(音楽) そうさんのさんぽ てとてであいさつ	(道徳) みんながにこにこ	《今週のなかよしタイム》 ・歌・・・「校歌」音楽で習う歌 ・体操・・・カエルの体操 動物体操 だけのこ体操など
	(音)歌 (体)体操 (国)みつけたよ 発表会	(音)歌 (体)体操 (生)もっと探検したいな これからの計画をたてよう	(音)歌 (体)体操 (生)もっと探検したいな これからの計画をたてよう			
② 9:30~ 10:15	(国語) あいうえおのうた じをかこう	(国語) あいうえおのうた じをかこう	(図工) せんをつなごう	(国語) あいうえおのうた じをかこう	(国語) あいうえおのうた じをかこう	
③ 10:35~ 11:20	(算数) かずあそび	(体育) ゆうくあそび かけっこリレー てつぼうあそび	(算数) なんばんめ	(算数) なんばんめ	(体育) ボールなげゲーム かけっこリレー	
④ 11:25~ 12:10	(音楽) そうさんのさんぽ てとてであいさつ	(算数) なんばんめ	(国語) あいうえおのうた じをかこう	(生活) 学校探検 もっと探検したいな 探検の準備をしよう	(算数) なんばんめ	
⑤ 14:05~ 14:50						

スタートカリキュラム 第4週 「これからのぼく・わたし」

	29日(月)	30日(火)	5月1日(水)	2日(木)	3日(金)	《今週のテーマ》
朝の学習 朝の会 8:15~ 8:40		朝学	朝学	読み聞かせ		「これからのぼく・わたし」 ・連休中の児童の実態を考慮しながら <u>学年合同の活動から学級単位の活動に移行</u> し、これまで学習してきたことがこれからの生活につながるようにしていく。 ・45分授業に移行しながらも、児童のペースにあわせて弾力的な時間配分を心掛ける。
		朝の会	朝の会	朝の会		
① 8:40~ 9:25	昭 和 の 日	(国語) あいうえおのうた じをかこう	(国語) あいうえおのうた じをかこう	(国語) あいうえおのうた じをかこう	憲 法 記 念 日	
② 9:30~ 10:15		(図工) せんをつなごう	(生活) グループで探検	(生活) グループで探検		
③ 10:35~ 11:20		(算数) なんばんめ	(国語) どくしょ ほんをかりよう	(算数) なんばんめ		
④ 11:25~ 12:10		(国語)しょしゃ よいしせい ひらがなのれんし ゆう	(算数) なんばんめ	(体育) ボールなげゲーム かけっこリレー		
⑤ 14:05~ 14:50			(音楽) 校歌 そうさんのさんぽ なまえあそび	(道徳) ともだち		



(2) アンケートを利用した幼稚園・保育所等との連携の工夫

スタートカリキュラム作成に当たり、児童が通っていた幼稚園や保育所等に、下記のようなアンケートを行いました。このアンケートを参考に、活動内容を検討することで、より子どもたちに寄り添ったカリキュラムを作成することができたと思います。また、アンケートを踏まえたスタートカリキュラムによる活動を幼稚園や保育所等の先生方に授業公開し、その後に研修の機会をもつことで、スタートカリキュラムの改善につなげることができました。

「スタートカリキュラム」作成についてのアンケートのお願い

子どもたちが幼稚園や保育所での生活から小学校生活にスムーズに適應できるよう、スタートカリキュラムの作成を考えております。そこで、年長児が幼稚園や保育所で親しんでいたあそびや歌、活動などの様子についてお聞きし、入学後の指導の参考にさせていただきたいと思ひます。

以下の質問にご記入の上、FAXにて回答いただけますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。

締め切り 月 日

() 幼稚園・保育所

① 子どもたちが好きなものや興味関心をもっているものは何ですか。

歌	
手あそび・歌あそび	
室内あそび	
戸外あそび	

② 幼稚園・保育所で年長児クラスの後半に取り組まれたことを教えてください。

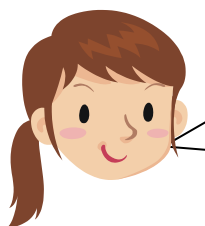
運 動	
文字や数に関すること	
給 食	
生 活	

③ 年長児の小学校入学にあたり、心配なこと・配慮してほしいことなどがありましたら、自由にお書きください。

◎ ご協力ありがとうございました ◎

本校では、さまざまな幼稚園・保育所等から子どもたちが就学しているため、同じ園から来た友達が他のクラスになり、不安に感じている児童もいました。「なかよしタイム」があることで、知っている友達とも一緒に交流することができ、児童も保護者も安心することができたのではないかと思います。また、15分のモジュールは、この時期の児童の実態に沿っており、今年度、入学時、朝の登校を嫌がる児童がいなかった要因の一つに、「なかよしタイム」の実施が挙げられると思います。





＜スタートカリキュラム編成・実施におけるポイント＞

- (1) 幼稚園、保育所等との連携（ゲストティーチャーとして幼稚園教諭を招へい）
- (2) 国語科、算数科における学習指導の工夫



(1) 幼稚園、保育所等との連携（ゲストティーチャーとして幼稚園教諭を招へい）

入学直後の2週間は学年全体で朝の活動「にこにこタイム」を行いました。その際、校区内の幼稚園の園長先生にも、ゲストティーチャーとして参加してもらいました。がんばって生活している様子を認めてもらうことで、児童は1年生としての自覚を深めたようでした。



また、4月に授業公開を行い、幼稚園・保育所等の教職員に参観してもらい、その後、研修会を行いました。幼保・小で連携して子どもの実態を把握するだけでなく、情報交換や子どもを引きつける技術、指示の出し方等を学び合うことができました。

【園長先生のお話】



(2) 国語科、算数科における学習指導の工夫

① 国語科「ひらがな指導」

ひらがな指導は、ただ文字を書くだけではなく、幼児期の教育との接続の視点から、児童の興味・関心を高めるために、言葉集めやクイズなど、話す・聞く活動をたくさん取り入れました。それにより、児童が、発表の仕方や話の聞き方(学習規律)を学んだり、ことばのやり取りを楽しんだりすることができました。



＜ひらがな指導の流れ～「あ」の実践例＞

(ア) 「あ」のつく言葉集め

* 「はい。〇〇です。」「同じです。」「他にもあります。」「もう一度言ってください。」

(イ) 「あ」がつくものクイズ

(例) 私の体は黒くて小さいです。私は甘いものが大好きです。 (答え) あり

* 後半になってくると子どもからの質問も見られるようになる。

「それはどこに住んでいますか?」「それは足が何本ありますか?」等

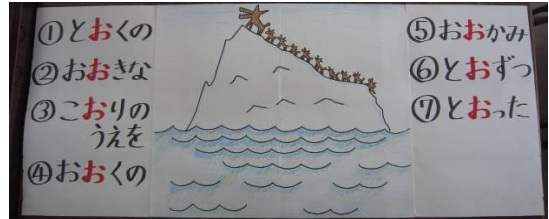
(ウ)「あひる」のお話作り (絵を見てお話を作る)

(エ)「あ」の字の指導

- 空書き…指で、お尻で、頭で、カタツムリの速さで、新幹線スピードで 等
- なぞりがき・鉛筆書き…はじめにクーピーで色別に書き順を確かめながら書く。

② 国語科「長音の指導」

お段の長音には、19例ほど「お」で表記される例外の言葉があります。それを丸暗記することは難しいので、日常の作文活動でよく使われる7例を選び、話を作って聞かせる学習活動を仕組みました。

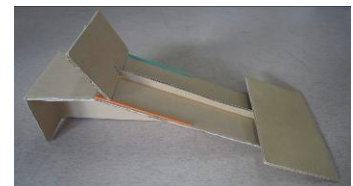


(参考資料：須田 清(1967)かな文字の教え方 (有)むぎ書房)

③ 算数科「いくつといくつ」

数の合成・分解の理解を深めるために、二つに分かれた滑り台にコインを滑らせ、コインの数あてゲームをしました。

「いくつといくつ」がたやすく理解できる子どもも、何度も楽しんで活動をし、一方が決まれば他方が決まる(8枚のコインを滑らせた場合、一方が3枚だと分かれば他方は見なくても5枚だと分かる)といった数についての多面的な見方ができるようになりました。



【数あてゲーム】

④ 算数科「たしざん」

10までのたし算「あわせていくつ(合併)」「ふえるといくつ(増加)」の学習が一通り終わったところで、『算数かるた』を行いました。たし算の話に合う絵を見つけるゲームで、数量の変化に着目して問題の話をイメージし、式に表現できることが大切となります。『算数かるた』を行うことで、短時間にたくさんのお話とイメージをつなげる経験を積むことができました。さらに、同じ「3+2」という式に表すことができる話をいくつかの絵の中から選び、その根拠を絵の中のものの数量に着目して説明することもできました。

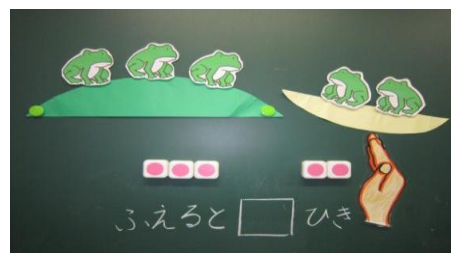
また、合併と増加のブロック(数量)の動きの違いを、右の二つの手の教具を用い、一つだと「増加」、二つだと「合併」を表すこととしました。児童にとって、動きをイメージしやすく、思考の助けとして有効でした。



【算数かるた】



【あわせていくつ(合併)】



【ふえるといくつ(増加)】



この教具は、「ひきざん」指導でも使用しました。

スタートカリキュラム

日付(曜日)	朝の学習・朝の会	①	②	③	④	⑤		
4月9日(火)				(行) 入学式	(学) 今日から1年生 担任紹介			
10日(水)	にこにこタイム 健康観察 体育館へ移動・並び方 廊下の歩き方 歌・手遊び・ゲーム・体操等 (生)1年生の先生の紹介 ※学年で一緒に	(生) 学校探検 教室 トイレ 水飲み場	(学) がっこうのやくそく	(生) きょうからなかよし (学) 下校準備				
11日(木)	にこにこタイム 下校指導される先生の紹介 (国)本の読み聞かせ ※学年で一緒に	(音) うたで さんぽ	(国) じをかこう はじめての えんぴつ	(生) きょうからなかよし				
12日(金)	にこにこタイム (国)本の読み聞かせ ※学年で一緒に	(生) 学校探検 保健室 職員室 校長室 給食室	(図) ぼくのかお わたしのかお	(算) 見てみよう ・教科書 ・算数セット				
今週の ポイント	<p>・幼児教育でなじんだ活動を取り入れることで楽しく安心して遊びや生活ができるようにする。 ・朝の活動を学年合同で行い、一貫性のある指導を行うとともに複数の目で見守る。 ・学校探検を通して学校の施設に触れさせながら、小学校生活への円滑な導入を図る。</p> <p><今週の内容> 歌・・・「校歌」「ときどきどん1年生」「1年生になったら」等 ゲーム・・・「かもつれっしゃ」「OΔOゲーム」「ナンバーコール」等 絵本・・・「はらべこあおむし」(大型絵本)「へんしんトンネル」(大型絵本)「100かいでてのいえ」(大型絵本)等</p>							
15日(月)	にこにこタイム 歌・ゲーム・体操 本の読み聞かせ (ふれあいゲームを中心に) (体)おにごっこ ※学年で一緒に	(生) 学校探検 先生と北 校舎を探 検	(体) 体ほぐし 走りっこ	(学) そうじのしかた	(国) みつけた よ	(学) 楽しい給 食	(国) 読み聞か せ	(音) うたでな かよしに なろう
16日(火)	にこにこタイム *身体測定準備により体育館使用 不可 (生)学校探検 図書室の使い方 ※学年で一緒に	(国) ほんがた くさん	(行) 身体測定	(書) はじめのれんしゅう	(国) みつけた よ	(学) 楽しい給 食	(国) 読み聞か せ	(音) うたでな かよしに なろう
17日(水)	にこにこタイム (国)本がたくさん ※学年で一緒に	(生) 学校探検 先生と西 校舎を探 検	(算) 探検した踏 見つけた数字	(体) からだほぐし ならびっこ	(国) みつけた よ	(学) 楽しい給 食	(行) 地区児童会	
18日(木)	にこにこタイム (生)お楽しみ ※学年で一緒に	(生) 学校探検 先生と中 央校舎を 探検	(算) かずとすうじ	(体) ゆうくのつかいかた	(国) みつけた よ	(学) 楽しい給 食	(国) 読み聞か せ	(国) じをかこ う「こ」
19日(金)	にこにこタイム (体)仲間作りゲーム ※学年で一緒に	(生) 学校探検 先生と東 校舎を探 検	(図) 探検して みつけたよ	(音) おはよう	(音) うたでな かよしに なろう	(学) 楽しい給 食	(生) みつけたよ 発表会	
今週の ポイント	<p>・にこにこタイムの後に毎日学校探検を設定し、同じパターンを繰り返すことにより安心感をもたせる。 ・学校探検を通して、学校生活のルールやマナー、友達や先生とのかかわりなどに関心をもたせる。 ・探検で見つけたものを表現する活動では、他教科との関連的な活動を意識する。</p> <p><今週の内容> ・歌・・・「世界中のこどもたちが」「さんぽ」「校歌」音楽で歌う歌等 ・ゲーム・・・「かもつれっしゃ」「お誕生日なかま」「もうじゅうがり」「おにごっこ」「折り返しリレー」等 ・絵本・・・「せんろはつづく」(大型絵本)「もぐらバス」(大型絵本)「からすのパンやさん」(大型絵本)「ありとすいか絵本」(大型)等</p>							

日付(曜日)	朝の学習・朝の会	①	②	③	④	⑤
22日(月)	にこにこタイム 歌・ゲーム・体操 朝の会 *学級ごとに	(国) 読み聞かせ はきはきあいさつ じをかこう「い」	(体) マットあそび	(算) かずとすうじ	(学) 日直の仕事	(図) おひさまにこにこ
23日(火)	にこにこタイム 朝の会 *学級ごとに	(国) 読み聞かせ はきはきあいさつ じをかこう「あ」	(行) 心電図検査	(図) おかあさんのえ	(図) おかあさんのえ	(音) うたでなかよしになろう
24日(水)	にこにこタイム 朝の会 *学級ごとに	(国) 読み聞かせ はきはきあいさつ じをかこう「め」	(算) かずとすうじ	(体) マットあそび	(国) あいうえおのうた じをかこう「え」	(学) 係の仕事
25日(木)	にこにこタイム 朝の会 *学級ごとに	(国) 読み聞かせ はきはきあいさつ じをかこう「お」	(算) かずとすうじ	(体) マットあそび	(音) うたでなかよしになろう	(国) ほんがたくさん
26日(金)	にこにこタイム 朝の会 *学級ごとに	(国) 読み聞かせ はきはきあいさつ じをかこう「か」	(算) かずとすうじ	(道) あるひのきょうしつ	(生) めいしづくり	(国) みなさんよろしく
今週の ポイント	<p>・小学校生活のルールや話の聞き方などについて再確認しながら、学年合同から学級単位へと移行する。</p> <p><今週の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌・・・「世界中のこどもたちが」「さんぽ」「校歌」音楽で歌う歌等 ・ゲーム・・・「じゃんけんカードゲーム」「いす取りゲーム」「フルーツバスケット」「伝言ゲーム」等 ・絵本・・・「ともだちや」シリーズ「おおきくなるっていうことは」「給食番長」シリーズ等 					
29日(月)	昭 和 の 日					
30日(火)	歌・ゲーム 体操 朝の会	(国) 読み聞かせ あめですよ じをかこう「さ」	(生) 学校探検 がっこうにはなにが あるのかな 2年生との交流	(生) 学校探検 がっこうにはなにが あるのかな 2年生との交流	(算) かずとすうじ	(書) ひらがなのれんしゅう
5月1日(水)	歌・ゲーム 体操 朝の会	(国) 読み聞かせ あめですよ	(算) かずとすうじ	(体) とび箱	(国) あめですよ じをかこう「ら」	(音) うたでなかよしになろう
2日(木)	歌・ゲーム 体操 朝の会	(国) 読み聞かせ あめですよ	(集会) 1ねんせいを むかえるかい	(図) しゅうかいのようす		
3日(金)	憲 法 記 念 日					
今週の ポイント	<p>・にこにこタイムはいったん終了したが、先週に引き続き朝の活動を1時間目前半の読み聞かせまで、毎日同じパターンにすることにより、安心感をもたせる。</p> <p>・学級での45分の時間割とするが、児童のペースに合わせた弾力的な時間配分を心がける。また、疲れが予想される午後は、ゆっくり過ごしたり、体を動かして気分転換が図れたりするような活動が多くなるようにする。</p> <p>・学校探検パート2では、2年生に特別教室を中心にその場所の特徴を表すクイズ等を準備してもらい、それに答えたり、説明をしてもらったりしながら、学校の施設についての理解を深めるようにする。</p>					



スタートカリキュラムを実践してみて、入学した児童が意欲的に学習するためには、幼稚園や保育所等で行われている遊びの要素を生かした活動を取り入れたり、教材や教具を工夫したりすることが欠かせないと実感しています。やってみたい、知りたいという興味・関心があってこそ、子どもは学びに没頭できると思います。

また、スタートカリキュラムの授業を幼稚園、保育所等の教職員に参観していただきました。授業のどんなところに幼児期の学びが生かされているかを話し合うことで、幼児期の教育と小学校教育のつながりをお互いが理解することができ、カリキュラムを作成する上でのヒントにもなりました。

<スタートカリキュラム編成・実施のポイント>

- (1) 幼児期の教育とのつながりを意識した環境構成の工夫
- (2) 他学年との交流活動の工夫



(1) 幼児期の教育とのつながりを意識した環境構成の工夫

幼稚園や保育所等では、毎日の生活時程やいろいろな指示が視覚で捉えられる工夫がされていました。子どもたちにとって、先を見通せることが、安心感につながっていました。そこで、入学してすぐの子どもたちが、安心して学校生活を過ごすことができるよう、次のような環境の工夫をしました。

- ① 毎日の活動をパターン化し、先が見通せるようにする。
- ② 活動内容や日課をボードに提示し、終わりが見えるようにする。
- ③ 園と同じような遊びができる時間と空間をつくる。

① 朝の会や帰りの会をパターン化するように、1日の区切りの時間もパターン化して、「朝のお支度は2まで、遊び時間はいつも6になったらおかたづけ、12時になったらお給食、3時ちょうどにさようなら」と区切りの時間を覚えさせました。チャイムとは5分ずれることもありますが、子どもたちは、時計を見て「おかたづけよ。」とお互いに声をかけながら動いていました。

② 日課や活動内容を黒板横に提示し、視覚で捉えられるようにしました。活動の終わりがわかることで子どもたちに安心感をもたせることができました。また、次の活動がわかり、自分たちだけでも学習を始められるようになりました。



【シートに座ってすごろく】

③ 幼稚園や保育所等の各部屋には、子どもたちがいつでも自由に遊ぶことのできる場所と道具が用意されていました。そこで、幼稚園や保育所等の活動を参考にして、積み木、折り紙、人形、ブロック、パズル、すごろくなどの道具と、座ることのできるシートを数枚準備し、床に座って自由に遊べるようにしました。シートを準備したのは、それぞれの遊びのスペースを区切ることができ、その遊びに集中できるからです。休み時間になると、子どもたちは床に座り込んだり、机

でお絵かきや粘土遊びをしたり、落ち着いた生活を自然に送ることができました。また、使った道具を片付ける場所や片付け方の約束を決め、幼稚園や保育所等で学んできた片付けの習慣も崩さないようにしました。



(2) 他学年との交流活動の工夫

① 6年生との交流

入学式の翌日から、集団登校が始まり、給食もスタートします。6年生に手伝いをお願いすることになりますが、6年生には、1年生が、一人でできるようになるまでという目標を意識させ、1年生には「ありがとう」とお礼を6年生に必ず言うよう指導をしました。

かかわりが生まれると、6年生の中には、1年生の様子が気にかかり、休み時間に声をかけにくる児童もいましたが、同じ子どもだけにかかわったり、1年生が遊びに没頭できなかつたりして、1年生にとってマイナス要因となることもあります。そこで、遊びに来てくれる6年生には、「休み時間の上手な過ごし方」を1年生に教えるよう指導しました。また、できるだけ担任も休み時間を一緒に過ごすようにしました。



【6年生との交流】

6年生への指導がしっかりとできていると、後の活動の指導もスムーズになります。本校では、毎日の縦割り班掃除、読書月間の縦割り班読書、縦割り班で行う児童集会と、縦割り班での活動が多く、6年生と1年生のよい関係をつくることは、6年生に「最高学年として自分もやっていけそうだ。」という自信を生むことにもつながります。1年生からお礼を言われるたびに「人の役に立つ喜び」を感じ、自己有用感を得ることが出来ます。また、1年生も、6年生へのあこがれを抱き、頼れる人が身近に増えるという安心感を得る効果がありました。

② 2年生との交流

2年生とは隣接する学年で、学校探検や運動会の練習、生活科の学習など、一緒に活動する場面が多く、1年生は、2年生を頼りながら、2年生も2年生なりに1年生に親切にしながら、とてもなかよく活動することができました。

他学年とのかかわりは、主体的に活動しようとする上学年の良い影響を受け、1年生の学校生活の幅が広がると考え、スタートカリキュラムに効果的に取り入れるとよいと思います。



【6年生との交流】



4月、子どもたちは、入学の喜びや期待と同時に、新しい環境への不安で胸を一杯にしてやってきます。スタートカリキュラムにおいて、幼児期の教育で行われてきた環境構成を取り入れたたり、他学年との交流を実施したりすることは、一人ひとりの子どもが、安心して学校生活を送るためにも大変重要であり、学校全体で情報を共有しておくことが必要だと思いました。

5 スタートカリキュラムの充実に向けて



スタートカリキュラムの充実に向けては、教育課程に位置付け、学校として組織的に行き、評価し、改善することが重要となります。1年担任だけの取組ではなく、小学校生活6年間を支えるカリキュラムであることを教職員全体で理解し、取組を充実させていくことが大切です。

また、幼稚園、保育所等の教職員と一緒にスタートカリキュラムを検討したり、保護者アンケートを行い、その結果を反映させたりすることで、より円滑な接続のためのスタートカリキュラムを編成することができます。

県内全ての小学校において、一人ひとりの児童が、安心して義務教育のスタートが切れるよう、各学校の実態に応じてスタートカリキュラムの充実に向けた取組を工夫しましょう。



「スタートカリキュラム実践事例集」は、山口県教育庁義務教育課Webページにも掲載しています。

また、幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るための指導資料「つながる子どもの育ち」（改訂版）の活用も併せてお願いします。

「つながる子どもの育ち」（改訂版）につきましても、義務教育課Webページに掲載しております。



【参考文献】

- 「幼稚園教育要領」（文部科学省）
- 「幼稚園教育要領解説」（文部科学省）
- 「保育所保育指針」（厚生労働省）
- 「保育所保育指針解説書」（厚生労働省）
- 「小学校学習指導要領」（文部科学省）
- 「小学校学習指導要領解説総則編」（文部科学省）
- 「小学校学習指導要領解説生活編」（文部科学省）
- 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」
(幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議)
- 「つながる子どもの育ち」改訂版 (山口県子育て支援連携推進委員会)
- 「スタートカリキュラムのすべて 仙台市教育委員会編」(ぎょうせい)
- 「幼児教育と小学校教育の連携ガイドブック」(大分県・大分県教育委員会)
- 「育ちと学びをつなぐ～横浜版接続期カリキュラム～」(横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会)

※ イラスト WANPUG